

在日本朝鮮人総聯合会中央本部 国際・統一局

朝・日友好ニュース

Korea・Japan Friendship News

【TEL】03-3262-7111 【FAX】03-3262-7110 【Email】kukje@chongryon.net

■ 各地の取組

【東日本大震災関連情報】

○ 「民族問わず、命を救いたい」 朝鮮学校も解放、避難所に（京都新聞 4.4）

京都新聞は4月4日、東日本大震災で宮城県と福島県の朝鮮学校が校舎などを避難所として日本人にも開放し、支援物資を各地に配るなど被災者の力になっていると伝えた。

同報道によると福島朝鮮初中級学校には震災直後に6～84歳の約30人が避難し、半数が日本人。教室に約10人ずつが分かれ、悩みを打ち明けながら励ましあったという。避難したある日本人は糖尿病、心臓病などで11種類の薬が欠かせない中、朝鮮総聯から派遣されたスタッフに相談すると、郡山市内の病院まで連れて行ってくれたという。また朝鮮総聯から届いた支援物資で食卓をかこみ、後片付けや掃除も分担。気分転換に校庭でとも汗を流し、笑いあったという。避難者は徐々に親類宅などへ移動し3月末に最後の一人を見送ったスタッフは、「私たちは日本で育った。民族の違いを考えず、仲間として助け合えた」と述べたという。

一方、東北朝鮮学校初中級（仙台市）の教師も朝鮮総聯や全国の在日から届いた支援物資で、数箇所の避難所で炊き出しをし、孤立状態の避難者約100人がいる気仙沼の神社では「初めて人が来てくれた」と歓声で迎えられたという。

○ 被災の朝鮮学校へ韓流俳優ら支援の輪 募金や慈善公演（朝日新聞 4.16）

東日本大震災で被災した朝鮮学校への支援の輪が韓国で広がっている。韓流俳優や映画監督が支援の会をつくり、月1回のチャリティー公演を1年間続けようと準備に奔走。ソウルの高校では生徒会の呼びかけで募金活動や学用品の寄付が行われた。

震災で、映画監督の金明俊（キム・ミョンジュン）さん（41）の頭にはすぐに在日同胞が浮かんだ。金監督は、2003年秋から1年半、北海道の朝鮮初中高級学校で生徒たちと寮生活を共にしながら、映画「ウリハッキョ（わたしたちの学校）」を作った。

ネットで、被災した仙台市の東北朝鮮初中高級学校の写真を見つけた。壁にはひびが入り、窓ガラスは割れ、建物内は足の踏み場もない。「力になりたい」と朝鮮学校と縁がある韓国の知人らに電話をかけた。

その一人が、韓流ドラマ「冬のソナタ」で知られる俳優の権海孝（クォン・ヘヒョ）さん（45）。02年、南北交流事業で訪れた北朝鮮の金剛山（クムガンサン）で朝鮮大学校（東京都）の学生と出会ったのを機に、何度も日本に行き、朝鮮学校支援の集会に参加してきた。

金監督に賛同して支援グループを立ちあげた。愛称は「ちびた鉛筆」（モンダンヨンピル）。「最後まで大切に続ける」との思いを込めた。

権さんは「民族の言葉と文化を守ってきた在日同胞に、韓国でも心をつなげる者がいることを伝えたい」と話す。27日にソウルで初のチャリティー公演をし、司会を務める。

ソウルの建国大学付属高校では、生徒会が約175万ウォン（約13万4千円）の義援金や学用品を集めた。新聞で朝鮮学校の状況を知った3年生の徐在輝（ソ・ジェヒ）さんが「同じ民族の仲間を助けたい」と呼びかけた。生徒会長の康晋赫（カン・シンヒョク）さんは「実際に朝鮮学校を訪れ、交流してみたい」と話す。東北朝鮮初中高級学校では被害の少ない寮で授業をすることにし、12日の入学式で韓国での支援の動きを紹介した。尹鐘哲（ユン・ジョンチョル）校長（50）は「だれも望まなかった震災だが、支援の輪が広がり、学校が発展する契機になれば」と話す。（ソウル＝中野晃）

○ 真心の焼肉振舞う 京都の朝鮮総連有志ら（岩手日報 4.19）

在日本朝鮮人総連合会（朝鮮総連）京都府青年商工会の有志は18日、大槌町小鍬の城山公園体育館で炊き出しを行い、約450人分の焼き肉を避難者や災害対策本部関係者に振る舞った。

炊き出しは、京都市で韓国料理店を営む金光烈さん（40）が母親の実家のある同町で支援を計画。本県や隣県の朝鮮総連関係者も協力した。

25人のメンバーは、鉄板や食材を持ち込み昼前から調理。味付けした約100キロの肉を炭火で焼くと、避難者から「いい匂い」と歓迎の声が上がった。

少年時代に母と帰省していた金さんは「母の実家も流されてしまい街中は正直何もなくなってしまったが、少しでも力になりたい」と汗を流した。

同体育館で避難生活を送る金さんの叔父、河元一さん（56）＝同町末広町＝は「言葉も出ないほどうれしい。店は流されたがプレハブの仮店舗から始めたい」と元気をもらった様子だった。

○ 守りたい命がそこにある（震災当日、茨城朝鮮学校に避難したある日本人のブログ）

<http://inoti.dreamlog.jp/archives/1472851.html>

【朝鮮新報関連記事】

○ 阿佐ヶ谷朝鮮学校「サランの会」設立総会、東京都内で初 日本市民が立ち上げ

<http://www1.korea-np.co.jp/sinboj/j-2011/03/1103j0422-00001.htm>

○ 楊亨燮副委員長、日朝友好文化交流代表団と会見

<http://www1.korea-np.co.jp/sinboj/j-2011/04/1104j0422-00008.htm>

○ パネルディスカッション 問われている日本の社会のありようと人権感覚（要旨）

<http://www1.korea-np.co.jp/sinboj/j-2011/03/1103j0422-00002.htm>

○ 東日本大震災 日本市民らが学校訪れ謝意

<http://www1.korea-np.co.jp/sinboj/j-2011/01/1101j0406-00004.htm>

■ 今後の取り組み

○ 「4.24 在日朝鮮学生全国同時行動 大阪～教育闘争の歴史と現状」

【日時】2011年4月29日（金・祝）13時30分開場

【会場】大阪歴史博物館4F講堂

【内容】1）パネルディスカッション（午後2時）

パネラー：金尚均（龍谷大学法科大学院教授）、鄭祐宗（大阪大学大学院）

2）デモ行進（午後4時 大阪城公園「教育塔」前集合予定）

○ 「歴史の改ざんは、なぜおこなわれたのか？－女性国際戦犯法廷から10年－」

【日時】4月29日（金・休）18:00開場、18:30開会

【場所】杉並区立産業商工会館3階ホール（杉並区阿佐谷南3-2-19）JR阿佐ヶ谷駅南口徒歩5分

【内容】ビデオ上映：『女性国際戦犯法廷』は何を裁いたのか？－性暴力・民族差別・植民地主義－

講演：「番組改変事件・その時そしてその後～担当プロデューサーが語る10年～」

永田浩三さん（元NHKプロデューサー）

○ 朝鮮人強制労働被害者補償立法の実現を求める要請署名

【お願い】<http://www.peace-forum.com/jinken/20110408kyoseirodo-kyoryokuyousei.pdf>

【署名用紙】（団体）<http://www.peace-forum.com/jinken/20110408kyoseirodo-dantaisyomei.pdf>

（個人）<http://www.peace-forum.com/jinken/20110408kyoseirodo-kojinsyomei.pdf>